

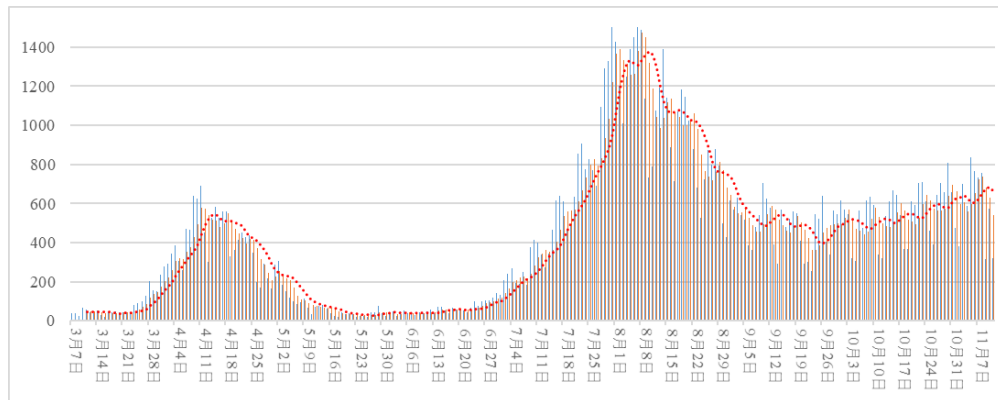
新型コロナウイルス感染症
流行シミュレーション作成事業
結果（2020年11月17日版）

群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

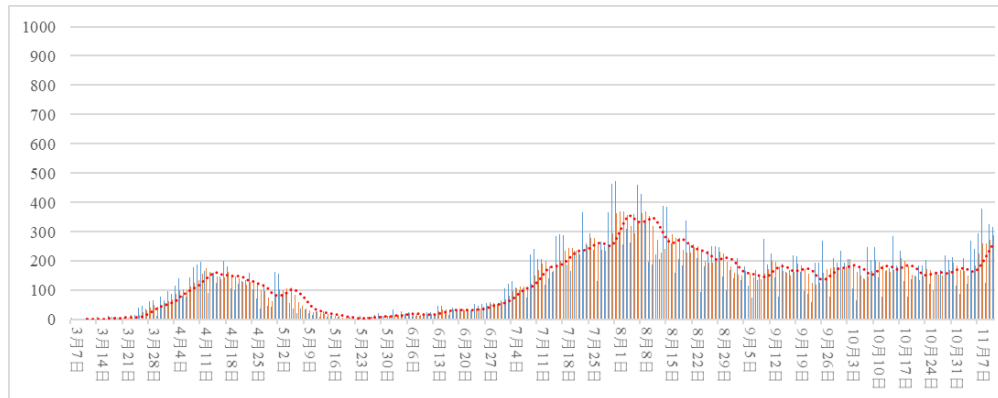
I 流行のリアルタイム評価

- 全国，東京都ともにPCR陽性者等の人数が少しずつ増加していた。

全国



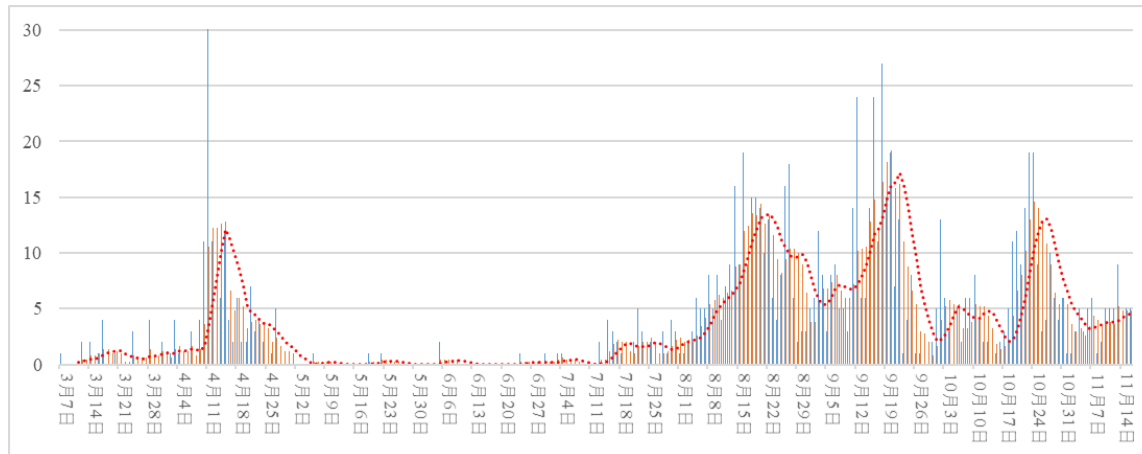
東京都



青：報告者数
橙：移動平均（5日）
破線：橙の近似曲線

I 流行のリアルタイム評価

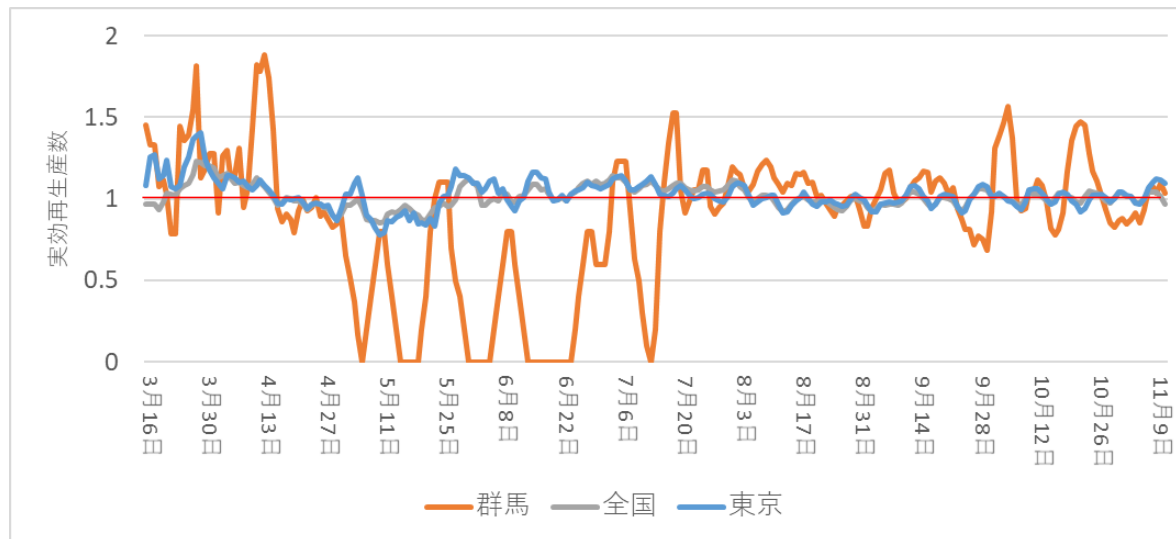
- 群馬県では、クラスターの発生に応じた局所的な対策もおこなっており、そのそれぞれの対策が功を奏し、持続的な拡大は認めていない。



青：報告者数
橙：移動平均（5日）
破線：橙の近似曲線

I 流行のリアルタイム評価

- 実効再生産数は、現在全国・東京共に1前後で推移している（全国0.96，東京都1.09）。
- 群馬県はクラスターの影響でわずかに1を上回っている（群馬県1.03）。
- 今のところ，著しい増減は認めなかった。



まとめ

- PCR陽性者等の報告数をみると，全国も東京都も微増していた。経済活動の再開に伴う人の移動の影響と考えられる。
- 実効再生産数は，全国も群馬県も1前後で大きな変動を示していなかった。
- 冬季の感染拡大に備え，少なくとも現状を維持できるように，私たち全員が感染対策に努めることが必要である。